

2025年度 しあわせキャリア支援センター 活動報告書



I'll be on your side always.

「しあわせキャリア支援センター」では
様々な事情で勤務継続が困難な教職員に支援を広げ、
そのキャリア継続を学校法人日本医科大学独自の取り組みとしてサポートしています。

学校法人日本医科大学しあわせキャリア支援センター

目 次

ご挨拶	1
学校法人日本医科大学しあわせキャリア支援センター体制図	2
I. 育児支援	3
II. 研究支援	3
III. キャリア教育支援	3
IV. 定例会議	3
V. ベビーシッター派遣事業割引券の発行	4
VI. 厚生労働省子育て世代の医療職支援事業に係る取組	4
VII. 文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 「牽引型」継続事業に係る取組	4
VIII. 文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 「女性リーダー育成型」に係る取組	5
2025年度 学校法人日本医科大学しあわせキャリア支援センター構成員	6

ご挨拶



学校法人日本医科大学
しあわせキャリア支援センター
センター長 土佐 眞美子

2025年度は、しあわせキャリア支援センターの各種事業が着実に進展し、これまで積み重ねてきた取組の成果が実を結んだ一年となりました。

文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」では、2026年3月の事後評価において、日本医科大学・日本獣医生命科学大学・アンファーマ株式会社の3機関が連携して推進してきた「One Health」を軸とする取組が高く評価され、総合評価「A」を獲得しました。また、女性研究者をはじめとする産学連携共同研究の推進により、研究業績の向上や上位職登用につながるなど、本事業の成果が着実に結実しました。さらに、4年目を迎えた女性リーダー育成型事業も、リーダー育成プログラムを通じて計画どおりに進展し、安定した成果を挙げました。

加えて、2025年7月には厚生労働省「子育て世代の医療職支援事業」に採択され、働き方調査、男性育児休業取得促進、妊活・不妊治療への理解促進、家事支援制度(カジホ)の導入など、多角的な支援を展開しました。キャリア教育支援では、医学部生への講義を通じて、自らの将来のキャリアを主体的に考える機会を提供しました。

研究支援では、2025年10月の東京都最低賃金改定に伴い、研究支援員配置制度の給与単価を見直し、より利用しやすい制度へと改善しました。育児・生活支援では、マザーネットの補助対象を拡充するとともに、2026年度からは家事代行等のライフサポートケアを新たな支援対象とすることを決定しました。

また、定例会議の機会が限られる中においても、「しあキャリ通信」を通じて継続的な情報共有を行い、センター運営の安定化と構成員相互の連携強化を図ることができました。

今後も、文部科学省および厚生労働省事業で培った成果を基盤として、制度の柔軟性と実効性をさらに高め、多様な人材がライフステージに応じて活躍し続けられる環境づくりを推進してまいります。ダイバーシティの推進を通じて、一人ひとりがその能力を十分に発揮できる環境を整え、本学の教育・研究・診療のさらなる発展に貢献してまいります。

皆様の日頃からのご理解とご協力に心より感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学校法人日本医科大学 しあわせキャリア支援センター体制図



～2025年度活動報告～

I 育児支援

●マザーネット

当センターでは、女性医師・研究者の仕事と育児の両立を支援するため、株式会社マザーネットと法人契約を締結し、ベビーシッター派遣病児保育支援事業を実施している。今年度の利用状況は以下の通りで、補助対象となる利用は少なかった。なお、利用者がいない月は、契約料のみを当センターが負担している。



2025 度マザーネット月別利用状況】

(登録者数10名)／2025年3月末

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

(単位:人)※延べ人数

<利用料金補助総額 169,437 円> ※昨年度 266,827 円／7人

II 研究支援

ダイバーシティ補助事業(牽引型)継続事業で、新型研究支援員配置制度を実施していることもあり、当センターの研究支援員配置制度利用者はいなかった。

2025年10月3日に東京都の地域別最低賃金が改定され、現行の学校法人日本医科大学研究支援員配置制度に関する規則に定める研究支援員の給与額の一部がこれを下回る状況となったため、法令遵守および制度の安定的運用の観点から、時給水準の見直しを行うと共に、今後の最低賃金改定に柔軟に対応するため、規則本文から具体的な金額を除き、別途定める運用基準により給与額を算定する方式へ変更するべく、規程等の一部改正を行った。

III キャリア教育支援

2025年10月20日(月)に、医学部第1学年の基礎科学特別講義にて、医師の「キャリア」を考える～働き方、働く場所、どう選び、どう決める?～を担当した。

IV 定例会議

当センターの円滑な運営を図るために、委員会を開催している。

今年度の開催は2回となったが、進行中の活動等について委員と共有し協同する目的で、定期的に「しあキャリ通信」を配信しているため、運営に支障はなかった。

第1回 2025年9月26日(月) メール会議

- ・新委員について
- ・令和7年度厚生労働省子育て世代の医療職支援事業実施団体の採択について
- ・同支援事業の実施内容について

第2回 2026年1月20日(火) メール会議

- ・マザーネットにおける補助対象ケアの拡充について

V ベビーシッター派遣事業割引券の発行

教職員の育児と就労の両立支援を目的に、2021年5月7日より「ベビーシッター派遣事業割引券」の発行を開始した。

利用対象は女性医師・研究者に限らず、本法人に勤務する教職員で、日本私立学校振興・共済事業団加入しており、対象児童と利用条件を満たせば、全職種、男女問わず、パートタイマーも利用可能とした。

本制度は、こども家庭庁の委託を受けた公益社団法人全国保育サービス協会が行っている「ベビーシッター派遣事業」を利用して実施するもので、この割引券を使用してベビーシッターサービスを利用すると、1日の利用料金から対象児童1人につき最大4,400円(1枚2,200円×2枚使用可)の割引が受けられる。

今年度の利用者数は14名で、割引券発行枚数は684枚、利用枚数は670枚であった。

VI 厚生労働省 子育て世代の医療職支援事業に係る取組

2025年6月に当該事業へ応募し、同年7月15日付で事業実施団体に採択され、以下の取組を実施した。

- 1)院内の働き方に関する調査～子育て世代を支える側への支援に向けて～
- 2)男性の育休取得拡大に向けた取組
- 3)妊活、不妊治療の理解への取組
- 4)子育て世代の医療職に対する家事サポート制度(カジホ！)の導入

本事業の補助金交付額は6,477,000円で、執行額は6,477,621円であった。

事業報告は [こちら](#) (学内専用)

カジホ！の実施報告は [こちら](#)

VII ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ「牽引型」継続事業に係る取組

1)第6回 女性・若手研究者キャリアデザインプロジェクト

牽引型事業で実施していた「連携機関における共同研究の補助」と、「女性・若手研究者キャリアデザインプロジェクト」を発展的に融合して実施した。本プロジェクトに参加の研究者が共同研究のグループを作り、共同研究を立案する。この研究を2026年度の研究費助成に申請し、予算の獲得を目指す。日本医科大学、日本獣医生命科学大学、東京理科大学、早稲田大学の研究者20名がメンバーから、5件の共同研究がマッチングした。

2)短時間勤務女性医師任用制度利用者への支援

制度利用を開始した8名が所属する各病院のメンターと面談を行い、制度利用者の状況把握並びに制度に関する情報提供を行った。面談を受け働く上での困難を抱えた2名に関してメンター間で情報共有と意見交換を行い対応した。制度利用者の上長からの相談に対応した。短時間勤務女性医師任用制度および利用者への支援の在り方について、報告書をもとに専門家からアドバイスを受けた。

3)産学横断キャリア相談窓口

研究者からのキャリア形成、育休復帰後の働き方など5件の相談に対応した。制度利用を促進するため、メンターを身近に知ってもらうため3名のメンターに聞き取りを行いウェブサイトで紹介した。

Ⅷ ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ「女性リーダー育成型」事業に係る取組

2022年9月27日付で、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ「女性リーダー育成型」(共同実施機関:日本獣医生命科学大学)に採択され、掲げられた目標達成に向けて様々な支援を行っている。

ダイバーシティ補助事業の活動報告については、別途事業報告書に取りまとめている。

【女性リーダー育成型】2025年度事業報告書は [こちら](#)

2025年度 学校法人日本医科大学しあわせキャリア支援センター 構成員

センター長	土佐 眞美子	日本医科大学付属病院 形成外科・再建外科・美容外科 特任教授
副センター長	小竹 佐知子	日本獣医生命科学大学 応用生命科学部 食品科学科 教授
副センター長	神田 奈緒子	日本医科大学千葉北総病院 皮膚科 教授
運営委員	大 橋 隆 治	日本医科大学 統御機構診断病理学 大学院教授
//	眞野 あすか	日本医科大学 生理学(生体統御学) 准教授(教育担当)
//	若林 あや子	日本医科大学 微生物学・免疫学 講師
//	遠 田 悦 子	日本医科大学 形態解析研究室 教授(ポストアップ)
//	高 橋 恭 子	日本医科大学 化学 准教授
//	横 堀 将 司	日本医科大学付属病院 救命救急科 大学院教授
//	福田 いずみ	日本医科大学付属病院 糖尿病・内分泌代謝内科 教授
//	三井 亜希子	日本医科大学腎クリニック 所長・教授(ポストアップ)
//	保 利 陽 子	日本医科大学付属病院 緩和ケア科 准教授(教育担当)
//	石 渡 明 子	日本医科大学付属病院 脳神経内科 非常勤講師
//	荻田 あづさ	日本医科大学武蔵小杉病院 皮膚科教授(教育担当)
//	谷内 七三子	日本医科大学付属病院 呼吸器内科 教授(教育担当)
//	田 嶋 華 子	日本医科大学武蔵小杉病院 小児科 教授(教育担当)
//	米 本 崇 子	日本医科大学武蔵小杉病院 総合診療科 准教授(教育担当)
//	堀 純 子	日本医科大学付属病院 眼科 教授
//	関 口 敦 子	日本医科大学多摩永山病院 女性診療科・産科 教授(教育担当)
//	柳 原 恵 子	日本医科大学多摩永山病院 乳腺科 准教授(教育担当)
//	藪 野 雄 大	日本医科大学多摩永山病院 形成外科 助教・医員
//	伊 藤 公 亮	日本医科大学千葉北総病院 麻酔科 助教・医員
//	山 本 昌 美	日本獣医生命科学大学 獣医学部獣医保健看護学科 教授(ポストアップ)
//	倉 岡 睦 季	日本獣医生命科学大学 応用生命科学部 動物科学科 助教

学校法人日本医科大学しあわせキャリア支援センター

Diversity promotion Center - For Your Good Life and Good career- ✨

〒113-8602 東京都文京区千駄木1-1-5 日本医科大学図書館1階

☎ 03-3822-2131 (代)

💻 <https://shien.nms.ac.jp/>